

令和6年山形県柔道選手権大会実施要項

1 目的

県内居住の選手を対象に試合を行い、更なる技能等の向上を図る。

2 主催

山形県柔道連盟

3 日時

令和6年2月4日（日） 午前10時00分（開会式）

同 9時30分（審判監督会議）

4 場所

上山市体育文化センターアリーナ

〒999-3241 山形県上山市けやきの森2番1号

5 出場資格

(1) 選手は、県内に居住、勤務、在学のうち、何れかの条件を満たすこと。

（卒業、転勤等により上記条件を満たすことが確定している場合には、出場できる。ただし、この場合、速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。）

(2) 選手は、日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録していること。

(3) 参加条件（これを満たしていない者の出場は認めない。）

ア 高校生の出場条件（男子のみ）

令和5年度の全国高校柔道選手権県予選、インターハイ県予選、国体県予選及び新人戦の何れかにおいてベスト4以上の成績を収めた者。

イ 中学生の出場条件

女子に限り、中学2年生以上で当該保護者の承諾を得た者。

6 試合方法

(1) 男女とも無差別のトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。

(2) 男子については、東北柔道選手権補欠選手選考のため、準々決勝敗退選手による5位決定戦を行う。

7 審判等

(1) 最新の「国際柔道連盟試合審判規定」で行う。

(2) 試合時間は、男女とも4分間とする。スコアに差が無い場合はゴールデンスコアによる時間無制限の延長戦を行う。

(3) 判定基準は「技あり」以上、または「反則負け」とする。

審判は1審制とし、ケアシステムによるビデオ確認を行う。

(4) 柔道衣は、全柔連柔道衣規格に適合した柔道衣（上衣、下穿はI J F赤ラベル及び「J U」から始まる赤文字のみ可、帯はI J F赤、青ラベル及び「J U」から始まる赤文字、黒文字全て可）を着用すること。

背中に名字と所属を明示したゼッケンを縫い付けること。（最初から付いていな

いは、出場資格がないものとする。) 【規格外は出場資格を失う】
その方法は次の図の例による。

図1 ゼッケンの位置

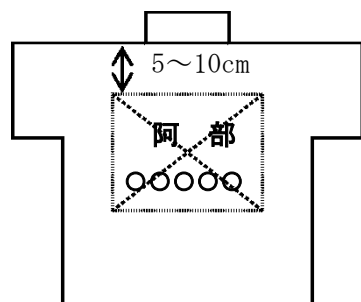
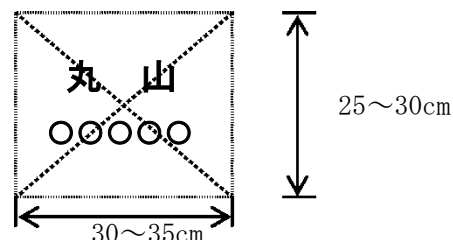


図2 ゼッケンの縫い付け方



ア 図1の位置に付けること(図2の……部分を縫い付けること)。

イ 名字(姓)は上側2/3、県名は下側1/3で横書きとする。

ウ 書体は、太いゴシック体(または明朝体)とし、男子は黒色、女子は濃赤色とする。

エ サイズは縦25~30cm、横30~35cmとする。

オ 試合直前又は試合中にゼッケンの二重貼付が発覚した場合「不戦負け」又は「反則負け」が適用される。(代替の柔道衣は認めない。)

8 脳震盪対応について(該当者:20歳未満の選手)

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場
の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不
可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を
提出すること。

9 受付

大会当日、午前8時50分から同9時20分までとする。

10 表彰

第3位まで表彰し、優勝者には優勝杯を授与する。

11 出場申込み

- (1) 出場を希望する者は、所定の申込書に必要事項を記載の上、以下の期日まで
必着の手続きをとること。

☆ 令和6年1月14日(日)午後3時まで必着

- (2) 申込先及び照会先(メールでの申込みを推奨します。)

〒990-2161 山形県柔道連盟事務局長 開 沼 敏 行

TEL: 090-1064-8824 FAX: 023-645-2149

e-mail: tqsm087@ybb.ne.jp (事務局あて)

*メールでの申し込みを推奨します。(当連盟HPに申込フォームを掲載します。)

12 参加料: 1人 1,500円(傷害見舞金を含む)

* 大会当日受付で徴収するので必ず納めること。

13 その他

本大会の成績をもとに強化委員会で以下の選手を決定する。

- (1) 全日本柔道選手権大会東北予選会出場者 4 名
- (2) 全日本女子柔道選手権大会東北予選会出場者 3 名
- (3) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属団体の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (4) 保険について
監督・選手は傷害保険に加入すること。
* 参加申込用紙に記載された個人情報が、県柔連ホームページに掲載される場合があります。